



●コース条件

- ・幅 1 m の合成紙の上に 2 m 隔てて、スタートラインとゴールラインを引く (幅 5 cm)
 - ・スタートラインより 1 m 先を中心にして、幅 6 cm + 両岸 3 cm ずつの川 (コース幅方向) を渡す
 - ・川岸は黒色、川面は水色で表し、光センサーの調整で区別できる
 - ・コース取りの目安となる中央線を全長に亘って引く
 - ・スタートラインを超えた構築物は、マシンによる自動設置のみ認め、また一時もスタートラインに接触してはならない
- ここで構築物とは、マシン本体から分離するパーツであって、本体の運搬具 (車両等) を除く
- ・川面に接触する構築物は両岸に接触しなければならない

● パーツ条件

- ・キット内のパーツのみで製作する
- ・装飾用に輪ゴムと少量の紙類を使用してもよい
- ・走行（もしくは歩行）および川越え動作のための動力源として、輪ゴムを使用しても、モーターと併用してもよい
- ・構築物の滑り止め用に輪ゴムを使用してもよい
- ・使用できる電池ボックスは1個、モーターは2個までとする
- ・少なくとも電池ボックスとモーター1個をマシン本体に搭載する
- ・単4アルカリ乾電池もしくはニッケル水素充電電池いずれか最大5本を使う
- ・マイコンの使用は必須とする

● 競技条件

- ・スタート7秒前よりカウントダウンし、スタート合図までモーター（通電）を止めておく
- ・スタート3秒前までにマシン（および全てのパーツ）から手を放すこと
- ・マシンの先端をスタートラインより手前に置き、マシンの一部でも川面に接触しないよう通過後、先端がゴールラインに到達するまでの時間を計測する
- ・ゴールライン到達の時点で、マシンの一部でも川面に架かってないこと
- ・ゴールライン到達の時点で、マシン本体が破壊および転覆してないと認められること（少なくとも搭載した電池ボックスとモーターの位置関係が大きく変化してないこと）
- ・川面に接触したか、ゴールライン到達の時点で川面に架かるパーツがマシン本体から分離されていること
- ・マシン全体がゴールラインを通過するのを必須とし、それまでマシンの一部でもコース幅をはみ出ず、また手を触れないこと
- ・手動または自動計測の結果、1/1000秒の位を四捨五入して1/100秒単位で記録する（計測および判定方法は主催側で当日決定する）
- ・3回トライし、所定のミッションを達成して走破した記録のうち、最短タイムで順位を決める
- ・上位2位まで表彰し、賞品を授与する